



⇒E-mail fureainpo@gmail.com

⇒ホームページ
<http://www.fureai-support.jp/>



8・9月号

令和5年7月14日

- 法 人 事 務 所 ・ ア ト リ エ TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424
 - デイサービス友遊(南飯淵) TEL 0244 (36) 3582
 - 相馬市中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244 (35) 2008
 - 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244 (37) 8870
 - 日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244 (35) 3400
 - 磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244 (32) 1787
 - 八幡小放課後児童クラブ(なのはな) TEL 0244 (26) 9011
 - 相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

5月に植えた稲も、分けつして太くグリーンと伸び、子ども達の成長のように逞しさを感じる稲に育っています。

気温の高い真夏日が続いているので、豊作を期待して、秋の収穫が楽しみです。

アトリエでは、毎回子供たちに特別な空間と時間を提供できる90分の授業を大切に、スタッフ一同、一人ひとりに向き合い学ぶ楽しさを共有してきました。1学期もあっという間に過ぎ、もうすぐ夏休みです。

長い夏休み、いつもと違う時間の中で普段できないことに挑戦。自ら考え、やる気の芽を伸ばしていきたいものです。



北町・未就学児コース



北町・小学生低学年コース



北町・小学生高学年コース



南飯淵・中学生～コース

6・7月の**かいがぞうけいきょうしつ**では…

未就学児：色水つくりやデカルコマニーで色遊び

「この色とこの色を混ぜるとこんな色になったよ」新しい発見に次は…次は…と、心ワクワク、目はキラキラ。夢中になってとっても楽しそう！お片づけは…これから徐々に練習していきましょうね。

小学1・2年生：ラディッシュ・そら豆(混色練習)

混色の練習をしながら、筆やパレットの使い方の再確認。緑色がなくてもレモン色・黄色・青色で葉っぱやそら豆の色作れたよ。切り貼り絵で大きな木も完成。話を聞くこと。コツコツやる努力。工夫して作品に完成です。

小学高学年～：ネギボウズ(写生～混色練習～構成)

倉本先生栽培の見事なネギ坊主。お店では買えない形の物。3年生は形と色の発見。例年、混色練習のよい教材になっていますが、今年度は4年生以上はあらためて写生をし、そこから発展させて構成し作品に仕上げました。

中学生以上～風景写生(油絵)

梅雨の合間の晴れた一日、南飯淵アトリエ周りの大きな木をテーマで、イーゼルにキャンバスを片手に、すっかり風景画家気分？で下絵を描く。下塗り、本塗と進み、1学期に完成。遅く大きな画面は成長した皆のよう…。

8・9月の活動予定 & 事務連絡

- ◎夏休みの特別授業は 裏面をご覧ください。
- ◎2学期は8月25日(金)30日(水)より始めます。
- ◎2泊3日リーダー育成「サマー合宿」は 別紙ご覧ください。
- ◎ご請求は
 - ・8月は月会費のみ
 - ・9月は月会費に加えて 冷暖房協力金 3,000円

アシスタント・リーダーさん紹介 よろしく…

- おのうち きよと(南飯淵アトリエ担当)
- さとう なぎ(北町担当)
- いわさき ゆりえ(おやつ担当)
- よしだ ゆりこ(陶芸担当)

親子の日



「親子の日」おやこのひは、米国人写真家ブルース・オズボーンさんが主催する親子の日普及推進委員会が中心となって、2003年より提唱・普及を行なっている記念日です。

7月の第4日曜日を「親子の日」と定め、「親と子」の関係を見つめながら、家族、地域、社会、平和を願うきっかけづくりを提案しています。

35年間にわたって、親子の写真を撮り続けてきた写真家、ブルース・オズボーンさんは、多大な被害をもたらした2011年の東日本大震災直後に、いてもたってもいられない気持ちを押しさえられずにカメラを持って東北各地を訪ねました。相馬絵画研究所の元アシスタントリーダーでデザイナーの佐藤仁さんの紹介で、アトリエに滞在し相馬市の親子をとっていただき、癒していただきました。親子で、家族で、絆の大切さを見つめ直すよい機会になりました。多くの家族と出会い、レンズ越しに見つめた数々の親子の姿。私たちは、被害が運んできた深い悲しみに負けないで欲しいという思いを込めて、オズボーンさんが撮影した写真の数々から、忘れてはならない大切なもの、私たちに力を与えてくれるもの、そして、決して風化しない真実を、今も受け止めることができます。その時の写真集がアトリエにあります。ギャラリーでご自由にご覧ください。

